

クマによる人身被害調査報告書

事故概要		男性 1 名が栗拾い中に、背後からクマにひっかかり負傷
発生日	日時	令和 7 年 9 月 22 日 午前 5 時 40 分頃
	天候	晴れ
発生場所	住所	利根郡みなかみ町真庭
	環境	住宅地
	山／里の別	里
被害者	年代・性別	77 歳男性
	被害状況	軽傷（腰部にミミズ腫れ、右上腕部に爪痕 3 つ）
加害個体	頭数	1 頭
	大きさ等	体長 1 m
事故状況		被害者が、自宅近くの休耕地の栗の木の下において、栗拾いをしていたところ、栗を拾い始めて 10 分経過した頃に、拾った栗をカゴに入れようと中腰姿勢時になった時に、背後からクマに乗られ、腰部と右上腕部の 2 ヶ所に軽傷を負った。
事故の原因・考察		・事故発生時間は午前 5 時 40 分頃で、クマの活動時間帯であり、周囲は薄暗く、クマの姿が視認しづらい状況であったことに加え、被害者はクマの事故が多いと言われる姿勢（栗を拾うため中腰姿勢）をしていた。 ・今年度秋季のみなかみ町の堅果類は不作傾向であるとの情報があるが、堅果類の中でも比較的結実の良い栗について、事故発生場所の周辺で栽培されており、地域住民によって利用されていた。この栗を目的として、クマが出没した可能性がある。併せて、ミズキなどの液果類やカキなどの放棄果樹も確認された。 ・周辺には、利根川の河畔林・用水路の藪・熊野神社の社寺林の藪があり、これらを経由して出没した可能性がある。
考えられる改善点		（住民側の対策） ・クマの行動が 1 日の中で最も活発である薄明薄暮の時間帯は、なるべく外出は自粛する。やむを得ず外出する際は、周囲をよく確認し、音を出しながら行動する。 ・栗や柿など、クマが好んで食する果樹を伐採するなど、誘引物を撤去する。

	・県で公開している「クマ出没マップ」や、県警が発信する「上州くん安全・安心メール」の野生動物出没情報などを活用し、住居地周辺のクマの出没状況を把握し、適切な対策をとる。 (行政側の対策) ・周辺に痕跡等がない場合は捕獲範囲の拡大を検討する、自動カメラ設置等により加害個体を把握する、等の手法を交え、積極的な加害個体の捕獲を行う。 ・周辺の社寺林、用水路の藪、河川敷の藪についての刈り払いを行うことで、人目に付きづらいコリドー（緑の回廊）状の林や藪をなくし、クマの移動経路を遮断する。 ・堅果類の不作など、クマの大量出没の傾向がある場合は、早めに住民に注意事項を周知する ・地域住民向けのクマ遭遇時の対処方法や平常時の対策の講習会を開催し、クマへの対処法や住民側でできる対策について周知する。
--	---